

650TLX

650 TLX

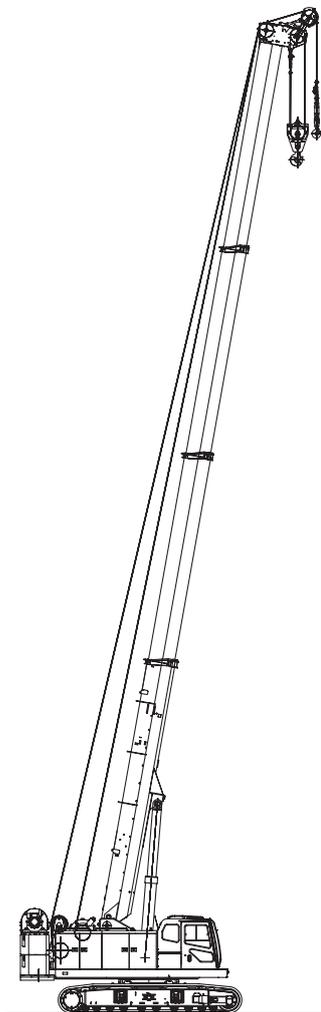
HYDRAULIC CRAWLER CRANE

アタッチメントバリエーション

ロープ速度*	フロント/リヤ	m/min	105
	第3ウインチ		105
ブーム上げ速度*		sec/度	52/0~78.0
旋回速度		min ⁻¹ (rpm)	4.5
走行速度 高/低*		km/h	1.7 / 1.2
登坂能力		% (度)	30 (17)
エンジン名称	いすゞ 6HK1 (2011年基準適合)		
定格出力		kW/min ⁻¹ (ps/rpm)	210 / 1900 (285 / 1900)

【注】

*印は負荷により速度変化します。



クレーン仕様ブーム最長

ブーム長さ	m	10 ~ 30.1
接地圧	kPa (kgf/cm ²)	92.4 (0.94) (65tフック付)
接地圧 (第3ウインチ付き時)	kPa (kgf/cm ²)	93.4 (0.95)
全装備質量	t	70.9 (65tフック付)
全装備質量 (第3ウインチ付き時)	t	71.7

バリエーション

アタッチメントバリエーション

2

仕 様

仕 様

5

クレーン仕様

6

寸法図／仕様 6

作業範囲図：フロントウインチ 7

■補助シーブ付き主ブーム 7

■2車補助シーブ付主ブーム 7

■補助シーブ 7

■2車補助シーブ 7

作業範囲図：リヤ・第3ウインチ 8

■補助シーブ付き主ブーム 8

■2車補助シーブ付主ブーム 8

■補助シーブ(リヤウインチのみ) 8

■2車補助シーブ(リヤウインチのみ) 8

作業範囲図：フロントウインチ、カウンタウエイトなし 9

■補助シーブ付主ブーム 9

■2車補助シーブ付主ブーム 9

■補助シーブ 9

■2車補助シーブ 9

作業範囲図：リヤ・第3ウインチ、カウンタウエイトなし 10

■補助シーブ付主ブーム 10

■2車補助シーブ付主ブーム 10

■補助シーブ(リヤウインチのみ) 10

■2車補助シーブ(リヤウインチのみ) 10

作業範囲図：ジャッキアップ時、カウンタウエイトなし 11

■補助シーブ付主ブーム 11

■2車補助シーブ付主ブーム 11

定格総荷重表 12

■補助シーブ付主ブーム(フロントウインチ) 12

■補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ) 13

■補助シーブ(フロントウインチ) 14

■補助シーブ(リヤウインチ) 15

■2車補助シーブ付主ブーム(フロントウインチ) 16

■2車補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ) 17

■2車補助シーブ(フロントウインチ) 18

■2車補助シーブ(リヤウインチ) 19

■補助シーブ付主ブーム(フロントウインチ、カウンタウエイトなし) 20

■補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ、カウンタウエイトなし) 21

■補助シーブ(フロントウインチ、カウンタウエイトなし) 22

■補助シーブ(リヤウインチ、カウンタウエイトなし) 23

■ 2車補助シーブ付主ブーム (フロントウインチ、カウンタウエイトなし).....	24
■ 2車補助シーブ付主ブーム (リヤ・第3ウインチ、カウンタウエイトなし).....	25
■ 2車補助シーブ (フロントウインチ、カウンタウエイトなし).....	26
■ 2車補助シーブ (リヤウインチ、カウンタウエイトなし).....	27
■ 補助シーブ付主ブーム (ジャッキアップ時、カウンタウエイトなし).....	28
■ 2車補助シーブ付主ブーム (ジャッキアップ時、カウンタウエイトなし).....	29

テクニカルデータ

分解時の質量と外形寸法	30
質量・外形寸法一覧表.....	30
装備品一覧	33
標準装備・オプション一覧.....	33

仕様

エンジン

エンジン名称	いすゞ 6HK1
エンジンタイプ	4 サイクル、水冷式、直接噴射式、ターボチャージャー付ディーゼルエンジン
排気量	7.79 L
定格出力	210 kW / 1,900 min ⁻¹ (285 ps / 1,900 rpm)
燃料タンク容量	400 L
備考	エンジンは、米国、欧州、日本のエンジン排出ガス規制である Stage III B / Int. Tier 4 / 2011 年基準に適合。 エンジンの定格出力は、エンジンオルタネータを装備し、ファンのない状態での国際的な定格算出方式に基づく。

コントロール

コントロールシステム	メインアクチュエータは、パイロット油圧システムが制御するメイン油圧システムにより動作する。安全装置は、各種電子制御回路を油圧システムと組み合わせ動作させている。動作速度は作業に応じて、コントロールレバーのストロークとコントロールダイヤルを使って制御可能。
コントロールレバー	人間工学に基づく設計と配置。アームチェアーレバータイプが標準装備。
ディスプレイ	8 インチサイズ。オペレータの視界を妨げることなく、作業状態を確認できるように配置。

油圧システム

作動油タンク容量	800 L		
油圧ポンプ容量	最大	31.4 MPa	
	P1	266 L / min	フロントウインチ、第 3 ウィンチ、オーガ、ブーム伸縮、走行
	P2	266 L / min	リヤウインチ、オーガ、ブーム起伏、走行
	P3	152 L / min	旋回、ジャッキ、クローラサイドフレーム伸縮、外部油圧源 B
	P4	38 L / min	パイロットコントロール、外部油圧源 A、その他
	P5	38 L / min	
	P6	38 L / min	
P7	30 L / min		

ウインチ

フロント、リヤウインチ

ウインチ	フロント	リヤ	
ロープ径	22.4mm	22.4mm	
ロープ巻取り長さ	標準	175 m	補助シーブ (オプション : 76 m)
	最大 (非作業時)	260 m	
ロープ引張力	定格	69 kN	69 kN
標準装備	ペダル操作により制御するブレーキ付きフリーフォールウインチ。		

第 3 ウィンチ

ロープ径	22.4mm	
ロープ巻取り長さ	標準	170 m
	最大 (非作業時)	260 m (フリーフォール) / 280 m (フリーフォールなし)
ロープ引張力	定格	69 kN
備考	ペダル操作により制御するブレーキ付きフリーフォールウインチ、またはフリーフォールなしウインチ (オプション)。	

旋回装置

減速ギアとマルチディスクブレーキ付き油圧モーター 1 個および内歯のある旋回ベアリングで構成。

カウンタウエイト

カウンタウエイト (自力着脱装置無)	総ウエイト質量	14.0 t
	3.0 t ベースウエイト数	1
	2.7 t 右側ウエイト数	2
カウンタウエイト (自力着脱装置付)	2.8 t 左側ウエイト数	2
	総ウエイト質量	13.6 t
	2.6 t ベースウエイト数	1
	2.7 t 右側ウエイト数	2
	2.8 t 左側ウエイト数	2

カーボディ

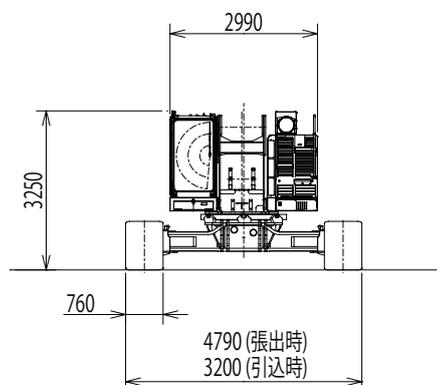
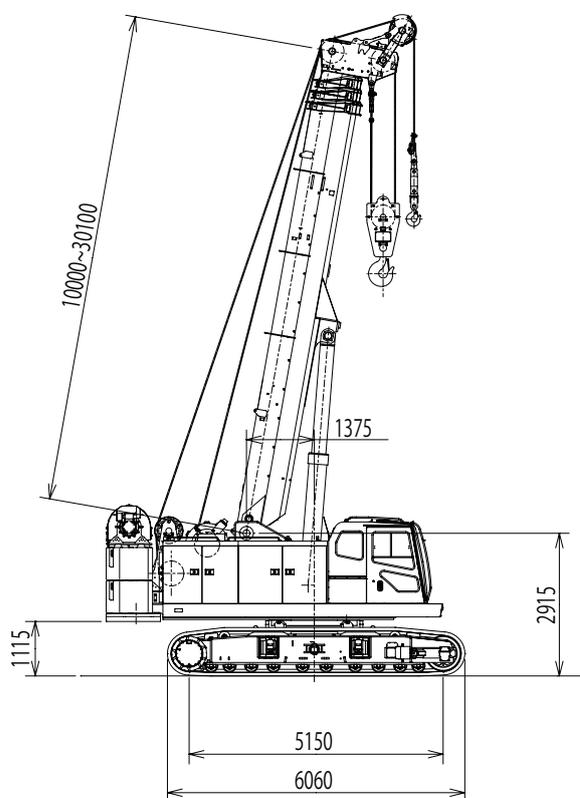
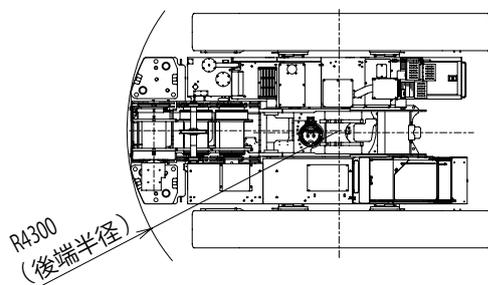
溶接鋼鉄構造。クローラ伸縮シリンダ付き。

クローラ サイドフレーム

クローラサイドフレーム	溶接鋼鉄ボックス構造。伸縮装置付き。	
クローラシュー	鋳鉄 760 mm 幅フラットシュー (各側)	
上部ローラ	各側 2 個	
下部ローラ	各側 10 個	
	ダブルフランジタイプ鍛造熱処理鋼 潤滑メンテナンス不要フローティングシール付き ブレンベアリング 2 個	
走行装置	各側 1 個	
	油圧走行装置 (油圧モーターと減速機)	
	走行速度 (登坂能力 : 30%)	高速 : 1.7 km/h 低速 : 1.2 km/h

クレーン仕様

寸法図／仕様



クレーン仕様

最大つり上げ荷重×作業半径	t × m	65 × 3.0
基本ブーム長さ	m	10.0
最長ブーム長さ	m	30.1
接地圧	kPa (kgf/cm ²)	92.4 (0.94) (65 t フック付)
接地圧 (第3 ウインチ付き時)	kPa (kgf/cm ²)	93.4 (0.95)
全装備質量	t	70.9 (65 t フック付)
全装備質量 (第3 ウインチ付き時)	t	71.7

フック質量

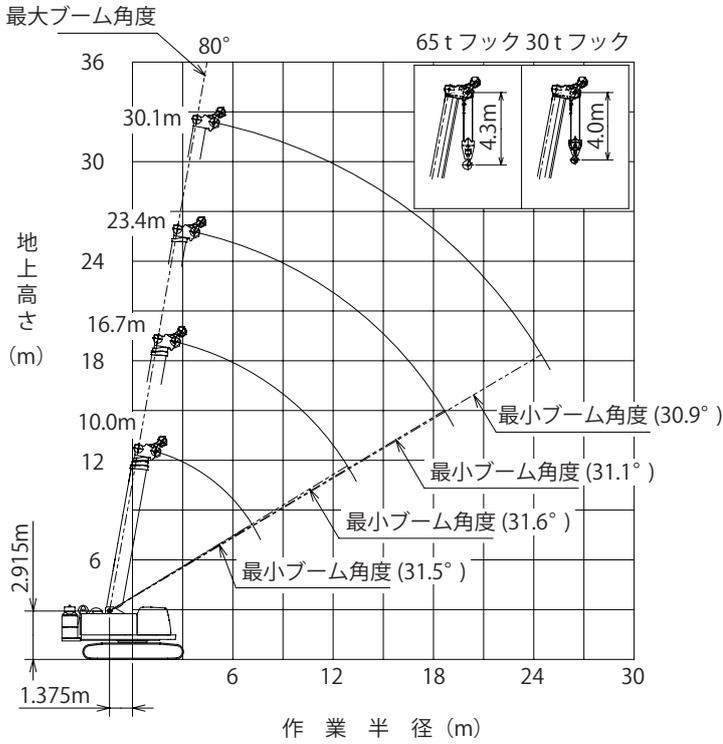
65 t	800 kg
30 t	520 kg
7 t	105 kg

【注】

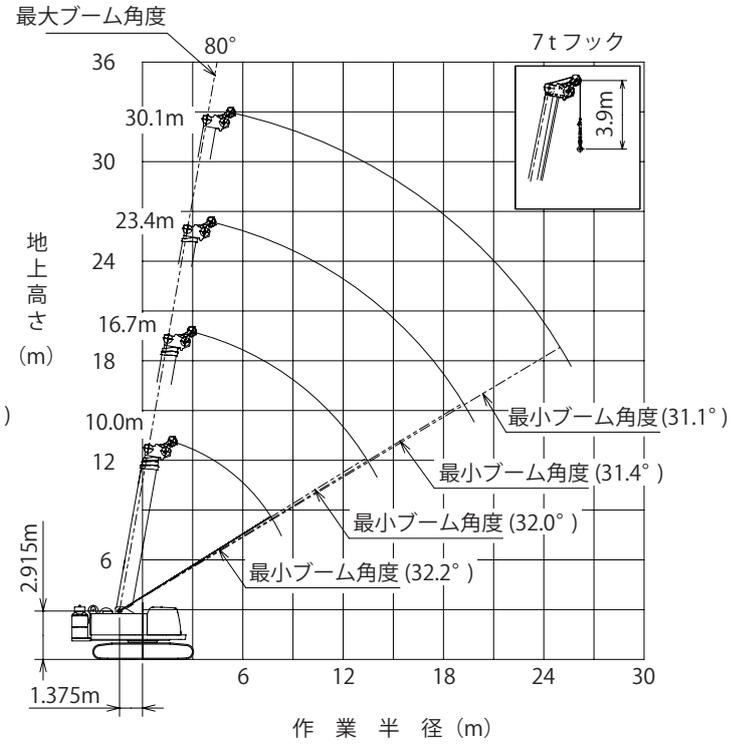
単位は、国際単位系 (SI) による表示です。() 内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

作業範囲図：フロントウインチ

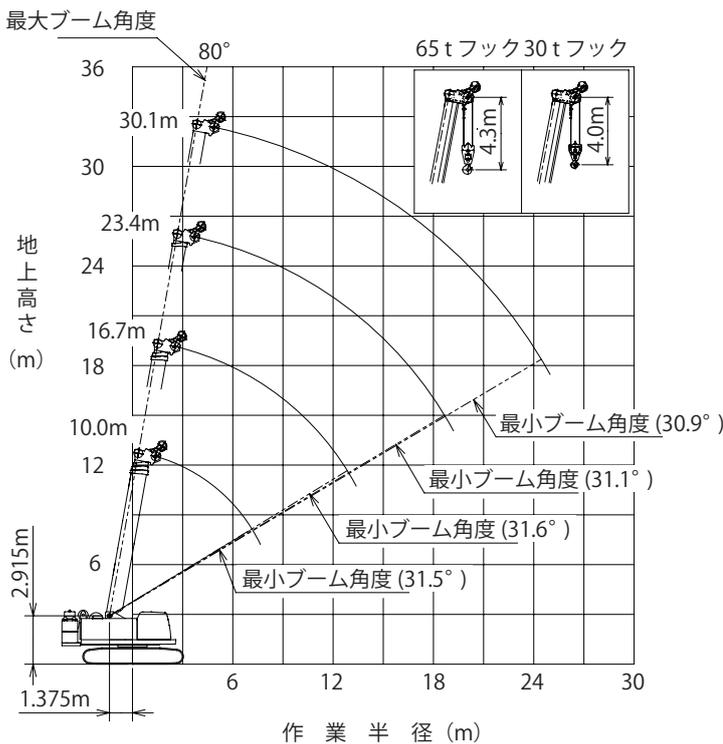
■補助シーブ付き主ブーム



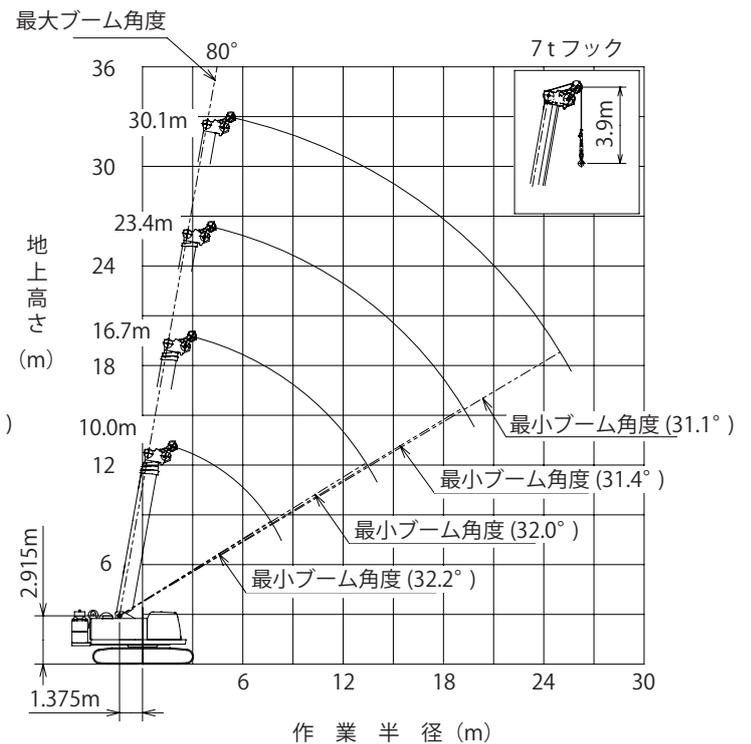
■補助シーブ



■2車補助シーブ付主ブーム

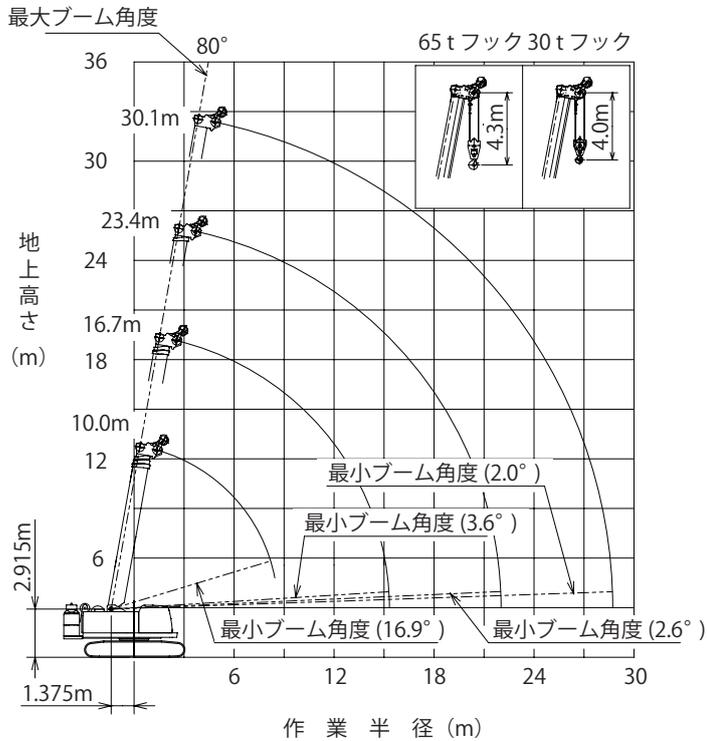


■2車補助シーブ

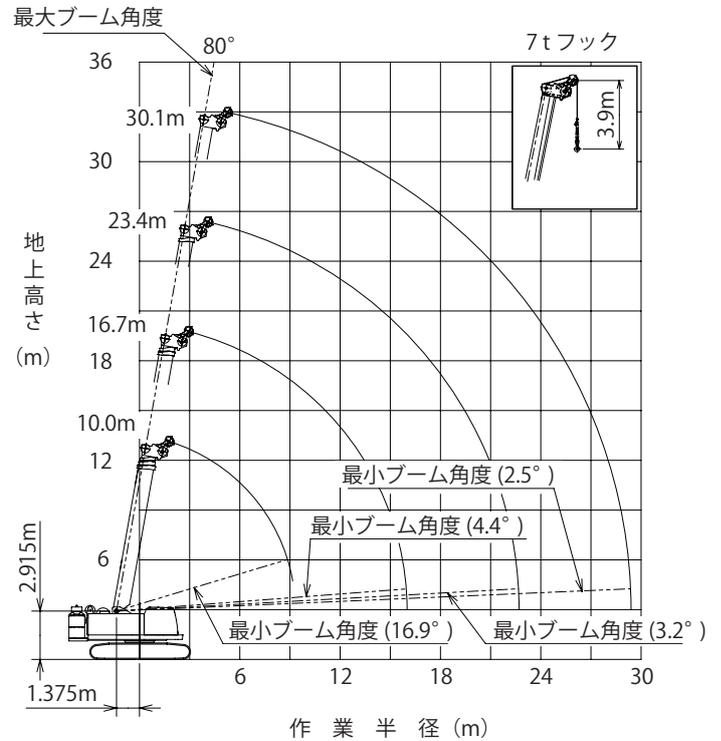


作業範囲図:リヤ・第3ウインチ

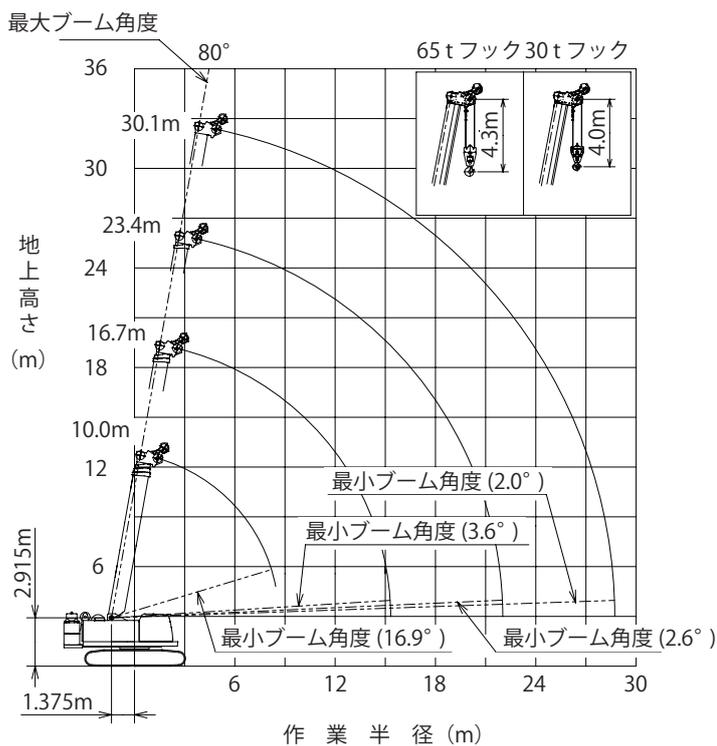
■補助シーブ付き主ブーム



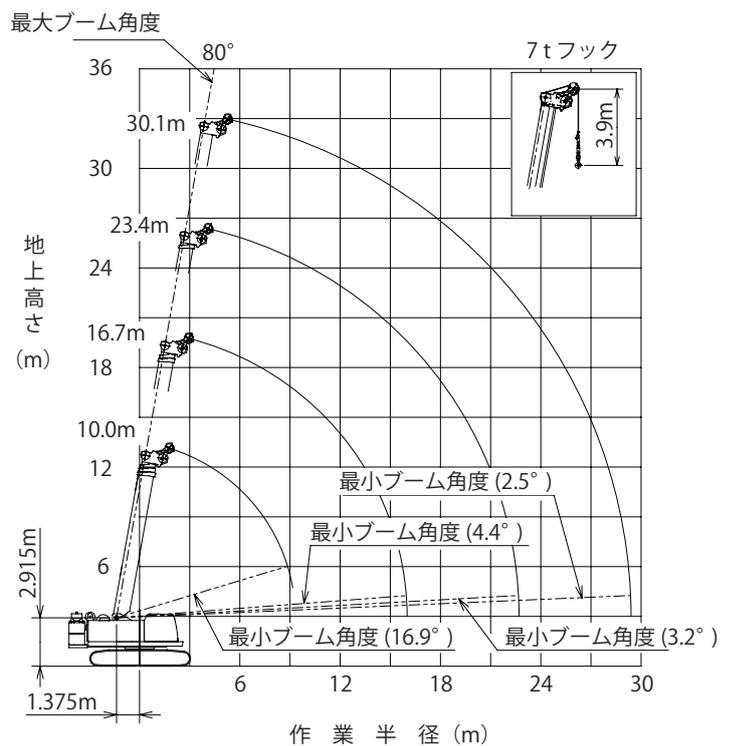
■補助シーブ (リヤウインチのみ)



■2車補助シーブ付主ブーム

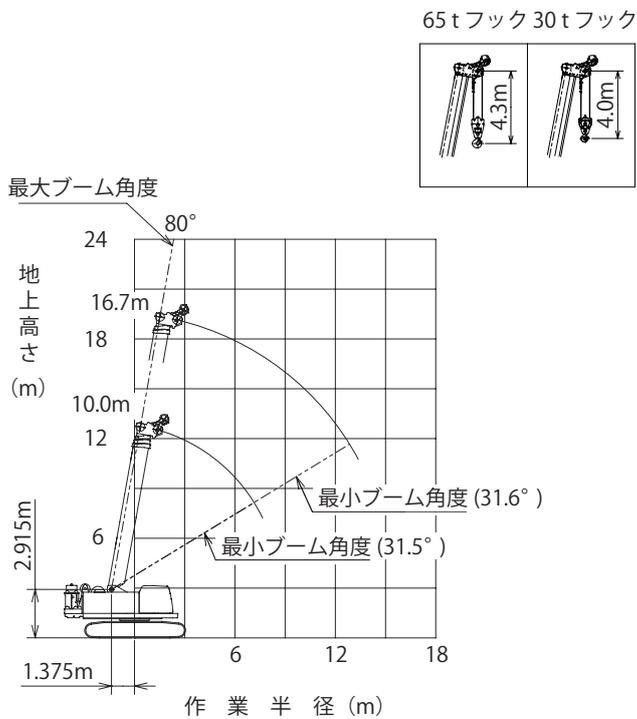


■2車補助シーブ (リヤウインチのみ)

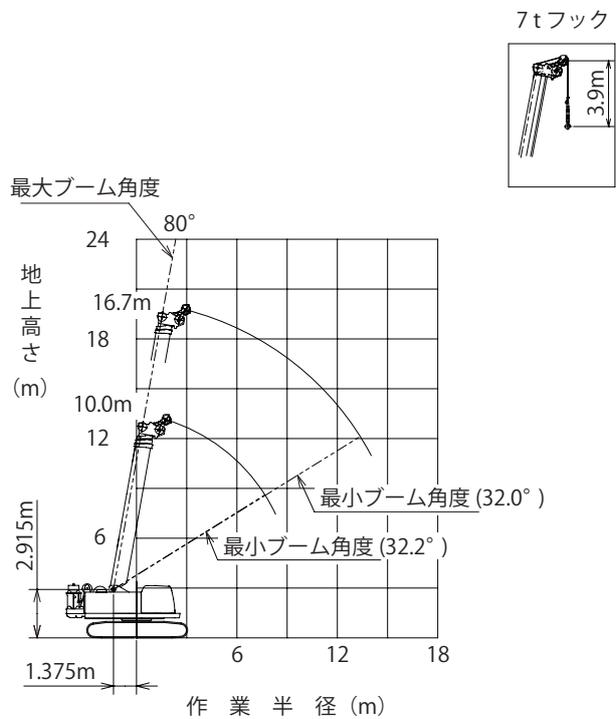


作業範囲図：フロントウインチ、カウンタウエイトなし

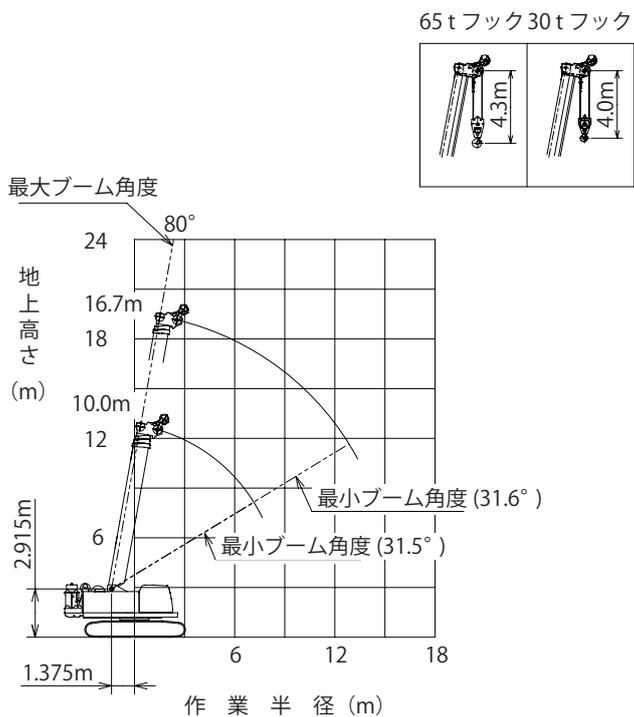
■補助シーブ付主ブーム



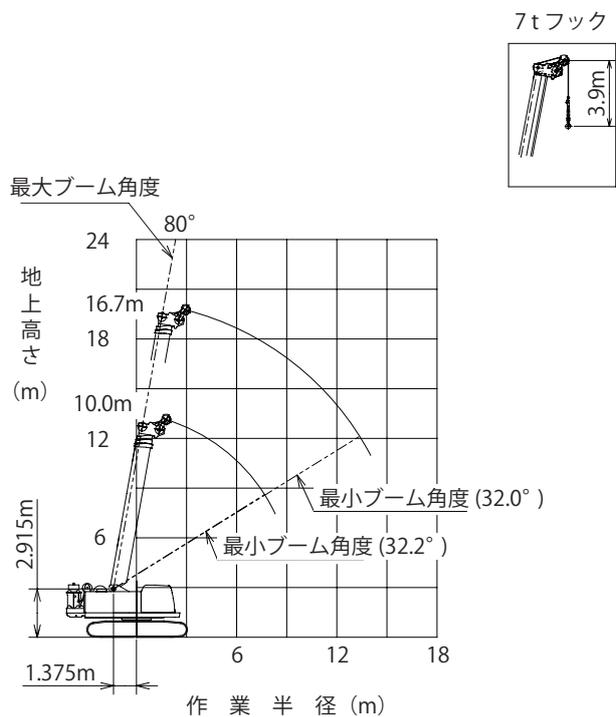
■補助シーブ



■2車補助シーブ付主ブーム

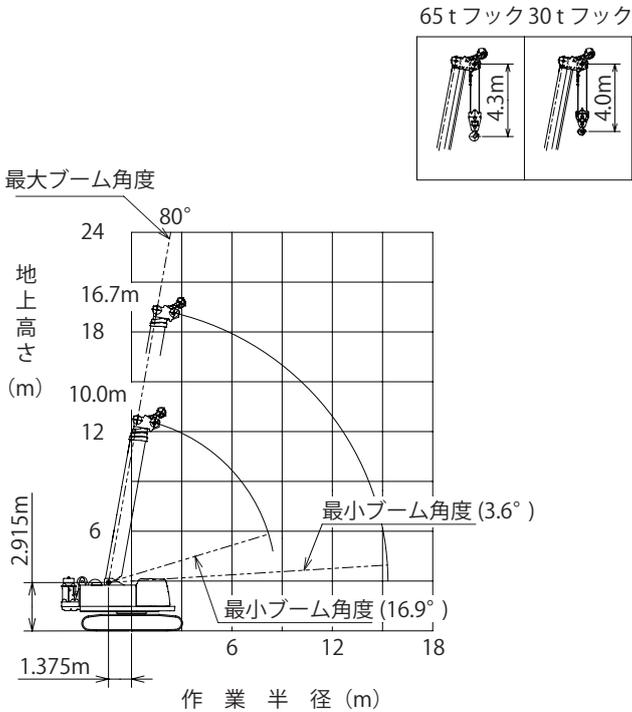


■2車補助シーブ

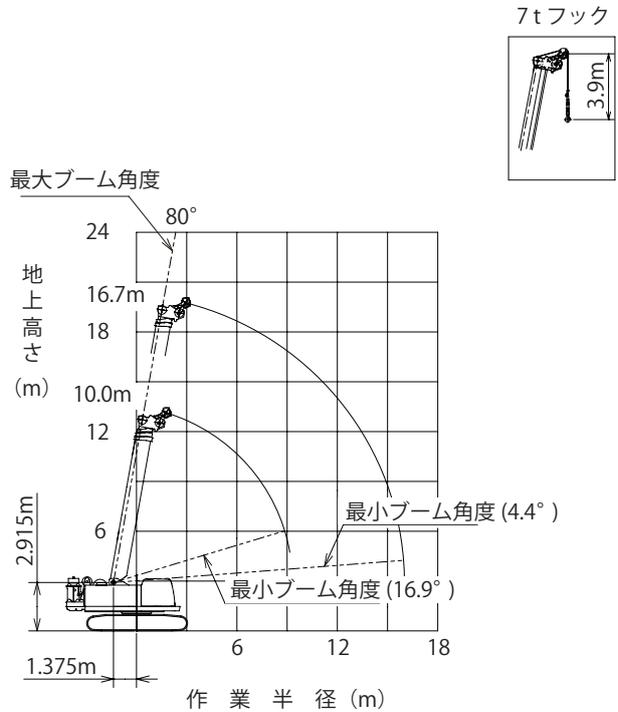


作業範囲図:リヤ・第3ウインチ、カウンタウエイトなし

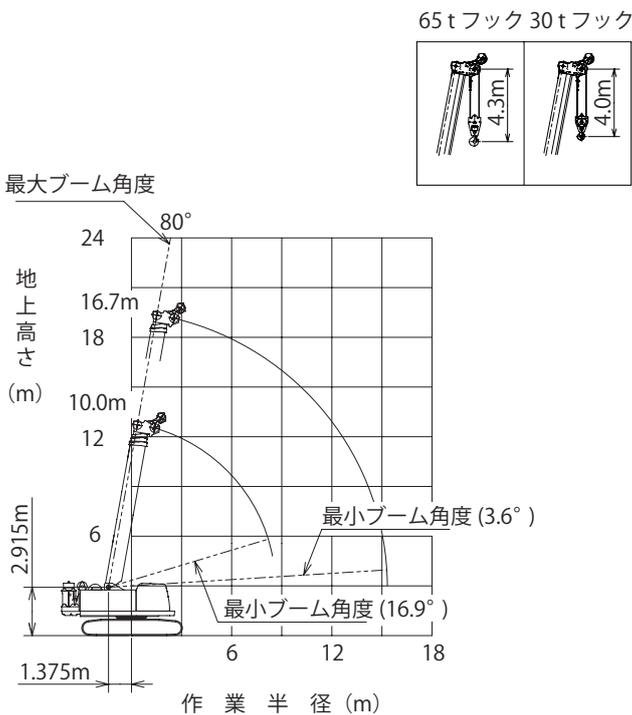
■補助シーブ付主ブーム



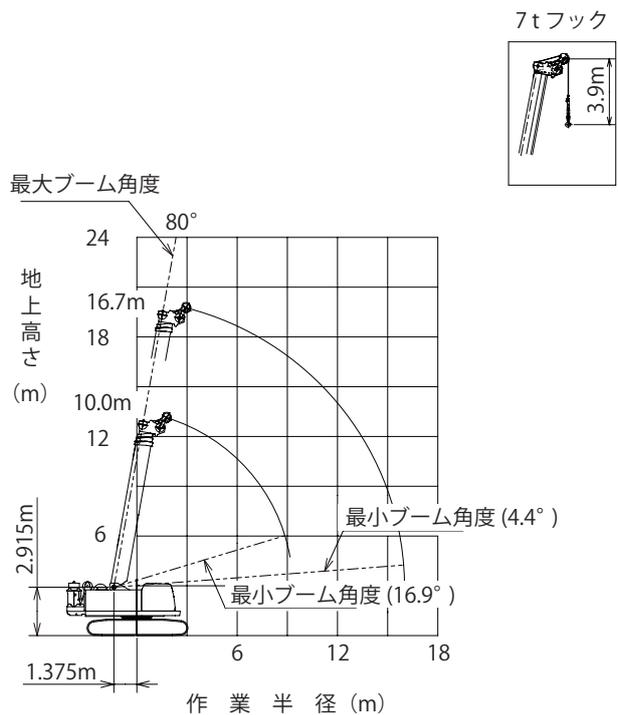
■補助シーブ (リヤウインチのみ)



■2車補助シーブ付主ブーム



■2車補助シーブ (リヤウインチのみ)

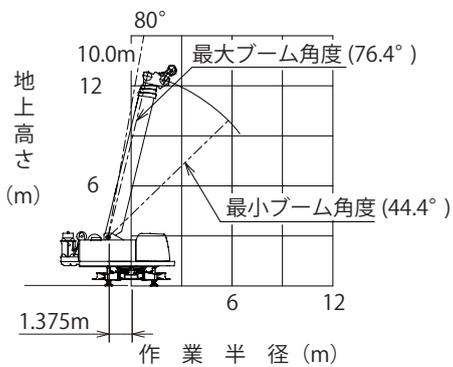
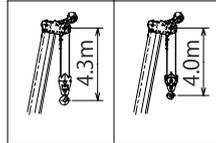


作業範囲図: ジャッキアップ時、カウンタウエイトなし

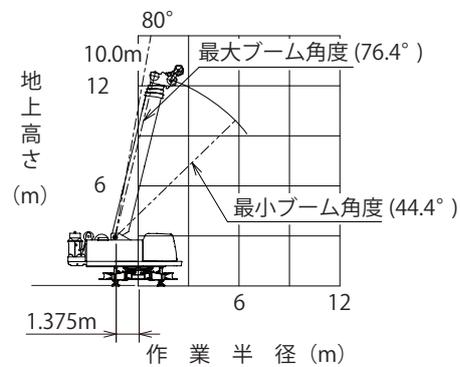
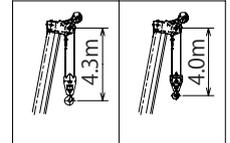
■補助シーブ付主ブーム

■2車補助シーブ付主ブーム

65 tフック 30 tフック



65 tフック 30 tフック



定格総荷重表

■補助シーブ付主ブーム(フロントウインチ)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2	65.0				2
2.5	65.0				2.5
3	65.0	32.0			3
3.5	55.0	32.0			3.5
4	48.0	32.0	26.0		4
4.5	41.5	32.0	26.0		4.5
5	37.0	30.5	26.0	16.0	5
5.5	34.0	28.8	25.0	16.0	5.5
6	32.5	26.5	23.0	16.0	6
7	26.3	23.0	20.2	16.0	7
8	7.7m x 22.5t	19.7	17.8	15.0	8
9		16.7	15.5	13.4	9
10		14.3	13.5	12.0	10
12		10.5	10.3	9.9	12
14		13.4m x 8.6t	7.9	8.0	14
16			6.0	6.5	16
18			4.6	5.2	18
20			19.2m x 3.9t	4.1	20
22				3.1	22
24				2.3	24
26				25.0m x 2.0t	26

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 口太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をついた状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t(標準仕様)です。
6. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)							
			10本掛	8本掛	6本掛	5本掛	4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	65	56	42	-	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	-	-	-	30	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	-	-	-	-	7

■補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2	65.0				2
2.5	65.0				2.5
3	65.0	32.0			3
3.5	55.0	32.0			3.5
4	48.0	32.0	26.0		4
4.5	41.5	32.0	26.0		4.5
5	37.0	30.5	26.0	16.0	5
5.5	34.0	28.8	25.0	16.0	5.5
6	32.5	26.5	23.0	16.0	6
7	26.3	23.0	20.2	16.0	7
8	21.0	19.7	17.8	15.0	8
9	8.5m x 18.9t	16.7	15.5	13.4	9
10	*8.7m x 7.0t	14.3	13.5	12.0	10
12		10.5	10.3	9.9	12
14		7.7	7.9	8.0	14
16		15.4m x 6.3t	6.0	6.5	16
18		*15.6m x 6.1t	4.6	5.2	18
20			3.4	4.1	20
22			2.3	3.1	22
24			22.1m x 2.3t	2.3	24
26			*22.3m x 2.2t	1.7	26
28				1.2	28
30				28.7m x 1.0t	30
				*29.0m x 0.9t	

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 口太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t(標準仕様)です。
6. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)							
			10本掛	8本掛	6本掛	5本掛	4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	65	56	42	-	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	-	-	-	30	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	-	-	-	-	7

7. 第3ウインチでのつり上げ時も本定格総荷重と同じです。
8. 本表は、多本掛けの値を示します。ただし*印の作業半径は、1本掛けでの最大作業半径を示します。

■補助シーブ(フロントウインチ)



作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2.5	7.0				2.5
3	7.0				3
3.5	7.0	7.0			3.5
4	7.0	7.0			4
4.5	7.0	7.0	7.0		4.5
5	7.0	7.0	7.0		5
5.5	7.0	7.0	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	7.0	7.0	8
9	8.6m x 7.0t	7.0	7.0	7.0	9
10		7.0	7.0	7.0	10
12		7.0	7.0	7.0	12
14		7.0	7.0	7.0	14
16		14.3m x 7.0t	6.0	6.5	16
18			4.6	5.2	18
20			3.4	4.1	20
22			20.1m x 3.3t	3.1	22
24				2.3	24
26				25.9m x 1.7t	26

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t(標準仕様)です。
6. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■補助シーブ(リヤウインチ)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2.5	7.0				2.5
3	7.0				3
3.5	7.0	7.0			3.5
4	7.0	7.0			4
4.5	7.0	7.0	7.0		4.5
5	7.0	7.0	7.0		5
5.5	7.0	7.0	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	7.0	7.0	8
9	7.0	7.0	7.0	7.0	9
10	9.5m x 7.0t	7.0	7.0	7.0	10
12		7.0	7.0	7.0	12
14		7.0	7.0	7.0	14
16		5.6	6.0	6.5	16
18		16.3m x 5.5t	4.6	5.2	18
20			3.4	4.1	20
22			2.3	3.1	22
24			23.0m x 2.0t	2.3	24
26				1.7	26
28				1.2	28
30				29.7m x 0.8t	30

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 口太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t (標準仕様)です。
6. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■ 2車補助シーブ付主ブーム (フロントウインチ)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2	65.0				2
2.5	65.0				2.5
3	65.0	31.9			3
3.5	54.9	31.9			3.5
4	47.9	31.9	25.9		4
4.5	41.4	31.9	25.9		4.5
5	36.9	30.4	25.9	15.9	5
5.5	33.9	28.7	24.9	15.9	5.5
6	32.4	26.4	22.9	15.9	6
7	26.2	22.9	20.1	15.9	7
8	7.7m x 22.4t	19.6	17.7	14.9	8
9		16.6	15.4	13.3	9
10		14.2	13.4	11.9	10
12		10.4	10.2	9.8	12
14		13.4m x 8.5t	7.8	7.9	14
16			5.9	6.4	16
18			4.6	5.1	18
20			19.2m x 3.8t	4.0	20
22				3.0	22
24				2.2	24
26				25.0m x 1.9t	26

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t (標準仕様)です。
6. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)							
			10本掛	8本掛	6本掛	5本掛	4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	65	56	42	-	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	-	-	-	30	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	-	-	-	-	7

■ 2車補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2	65.0				2
2.5	65.0				2.5
3	65.0	31.9			3
3.5	54.9	31.9			3.5
4	47.9	31.9	25.9		4
4.5	41.4	31.9	25.9		4.5
5	36.9	30.4	25.9	15.9	5
5.5	33.9	28.7	24.9	15.9	5.5
6	32.4	26.4	22.9	15.9	6
7	26.2	22.9	20.1	15.9	7
8	20.9	19.6	17.7	14.9	8
9	8.5m x 18.8t	16.6	15.4	13.3	9
10	*8.7m x 7.0t	14.2	13.4	11.9	10
12		10.4	10.2	9.8	12
14		7.6	7.8	7.9	14
16		15.4m x 6.2t	5.9	6.4	16
18		*15.6m x 6.0t	4.5	5.1	18
20			3.3	4.0	20
22			2.2	3.0	22
24			22.1m x 2.2t	2.2	24
26			*22.3m x 2.1t	1.6	26
28				1.1	28
30				28.7m x 0.9t	30
				*29.0m x 0.8t	

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をついた状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t(標準仕様)です。
6. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)							
			10本掛	8本掛	6本掛	5本掛	4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	65	56	42	-	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	-	-	-	30	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	-	-	-	-	7

7. 第3ウインチでのつり上げ時も本定格総荷重と同じです。
8. 本表は、多本掛けの値を示します。ただし、*印の作業半径は、1本掛けでの最大作業半径を示します。

■ 2車補助シーブ (フロントウインチ)



作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2.5	7.0				2.5
3	7.0				3
3.5	7.0	7.0			3.5
4	7.0	7.0			4
4.5	7.0	7.0	7.0		4.5
5	7.0	7.0	7.0		5
5.5	7.0	7.0	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	7.0	7.0	8
9	8.6m x 7.0t	7.0	7.0	7.0	9
10		7.0	7.0	7.0	10
12		7.0	7.0	7.0	12
14		7.0	7.0	7.0	14
16		14.3m x 7.0t	5.9	6.4	16
18			4.5	5.1	18
20			3.3	4.0	20
22			20.1m x 3.2t	3.0	22
24				2.2	24
26				25.9m x 1.6t	26

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をついた状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t (標準仕様)です。
6. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■ 2車補助シーブ (リヤウインチ)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)				作業半径 (m)
	10.0	16.7	23.4	30.1	
2.5	7.0				2.5
3	7.0				3
3.5	7.0	7.0			3.5
4	7.0	7.0			4
4.5	7.0	7.0	7.0		4.5
5	7.0	7.0	7.0		5
5.5	7.0	7.0	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	7.0	7.0	8
9	7.0	7.0	7.0	7.0	9
10	9.5m x 7.0t	7.0	7.0	7.0	10
12		7.0	7.0	7.0	12
14		7.0	7.0	7.0	14
16		5.5	5.9	6.4	16
18		16.3m x 5.4t	4.5	5.1	18
20			3.3	4.0	20
22			2.2	3.0	22
24			23.0m x 1.9t	2.2	24
26				1.6	26
28				1.1	28
30				29.7m x 0.7t	30

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をついた状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. カウンタウエイトは、14t (標準仕様)です。
6. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■補助シーブ付主ブーム(フロントウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2	26.0		2
2.5	26.0		2.5
3	26.0	19.0	3
3.5	26.0	19.0	3.5
4	26.0	19.0	4
4.5	26.0	19.0	4.5
5	21.8	19.0	5
5.5	18.0	16.5	5.5
6	15.3	14.0	6
7	11.4	10.5	7
8	7.7m x 9.5t	8.2	8
9		6.5	9
10		5.3	10
12		3.6	12
14		13.4m x 2.7t	14

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
4. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)			
			4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	7

■補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2	26.0		2
2.5	26.0		2.5
3	26.0	19.0	3
3.5	26.0	19.0	3.5
4	26.0	19.0	4
4.5	26.0	19.0	4.5
5	21.8	19.0	5
5.5	18.0	16.5	5.5
6	15.3	14.0	6
7	11.4	10.5	7
8	8.7	8.2	8
9	8.5m x 7.5t	6.5	9
10	*8.7m x 6.9t	5.3	10
12		3.6	12
14		2.2	14
16		15.4m x 1.3t	16
		*15.6m x 1.1t	

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
4. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)			
			4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	7

5. 第3ウインチでのつり上げ時も本定格総荷重と同じです。
6. 本表は、多本掛けの値を示します。ただし*印の作業半径は、1本掛けでの最大作業半径を示します。

■補助シーブ(フロントウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2.5	7.0		2.5
3	7.0		3
3.5	7.0	7.0	3.5
4	7.0	7.0	4
4.5	7.0	7.0	4.5
5	7.0	7.0	5
5.5	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	8
9	8.6m x 6.9t	6.5	9
10		5.3	10
12		3.6	12
14		2.2	14
16		14.3m x 2.0t	16

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■補助シーブ(リヤウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2.5	7.0		2.5
3	7.0		3
3.5	7.0	7.0	3.5
4	7.0	7.0	4
4.5	7.0	7.0	4.5
5	7.0	7.0	5
5.5	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	8
9	5.8	6.5	9
10	9.5m x 5.0t	5.3	10
12		3.6	12
14		2.2	14
16		1.0	16
18		16.3m x 0.8t	18

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■ 2車補助シーブ付主ブーム(フロントウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2	26.0		2
2.5	26.0		2.5
3	26.0	18.9	3
3.5	26.0	18.9	3.5
4	26.0	18.9	4
4.5	26.0	18.9	4.5
5	21.7	18.9	5
5.5	17.9	16.4	5.5
6	15.2	13.9	6
7	11.3	10.4	7
8	7.7m x 9.4t	8.1	8
9		6.4	9
10		5.2	10
12		3.5	12
14		13.4m x 2.6t	14

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
4. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)			
			4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	7

■ 2車補助シーブ付主ブーム(リヤ・第3ウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2	26.0		2
2.5	26.0		2.5
3	26.0	18.9	3
3.5	26.0	18.9	3.5
4	26.0	18.9	4
4.5	26.0	18.9	4.5
5	21.7	18.9	5
5.5	17.9	16.4	5.5
6	15.2	13.9	6
7	11.3	10.4	7
8	8.6	8.1	8
9	8.5m x 7.4t	6.4	9
10	*8.7m x 6.8t	5.2	10
12		3.5	12
14		2.1	14
16		15.4m x 1.2t	16
		*15.6m x 1.0t	

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
4. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	使用可能 ブーム長さ(m)	定格総荷重の最大値(t)			
			4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
65	0.80	10~16.7	28	-	14	-
30	0.52	10~30.1	28	21	14	-
7	0.11	10~30.1	-	-	-	7

5. 第3ウインチでのつり上げ時も本定格総荷重と同じです。
6. 本表は、多本掛けの値を示します。ただし*印の作業半径は、1本掛けでの最大作業半径を示します。

■ 2車補助シーブ (フロントウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2.5	7.0		2.5
3	7.0		3
3.5	7.0	7.0	3.5
4	7.0	7.0	4
4.5	7.0	7.0	4.5
5	7.0	7.0	5
5.5	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	8
9	8.6m x 6.8t	6.4	9
10		5.2	10
12		3.5	12
14		2.1	14
16		14.3m x 1.9t	16

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■ 2車補助シーブ (リヤウインチ、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)		作業半径 (m)
	10.0	16.7	
2.5	7.0		2.5
3	7.0		3
3.5	7.0	7.0	3.5
4	7.0	7.0	4
4.5	7.0	7.0	4.5
5	7.0	7.0	5
5.5	7.0	7.0	5.5
6	7.0	7.0	6
7	7.0	7.0	7
8	7.0	7.0	8
9	5.7	6.4	9
10	9.5m x 4.9t	5.2	10
12		3.5	12
14		2.1	14
16		0.9	16
18		16.3m x 0.7t	18

1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. □太線内の値は強度に基づいています。
4. 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
5. フック質量は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)
7	0.11

■補助シーブ付主ブーム(ジャッキアップ時、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)
	10.0
2	9.5
2.5	9.5
3	9.5
3.5	9.5
4	9.5
4.5	9.5
5	9.5
5.5	7.5
6	6.0
6.5	5.0

- この定格総荷重はクローラサイドフレームの自力着脱のためのものです。
自力着脱以外に使用しないでください。
- 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
- 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
- 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
- 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	定格総荷重の最大値(t)	
		2本掛	1本掛
65	0.80	14	-
30	0.52	14	-
7	0.11	-	7

■ 2車補助シーブ付主ブーム (ジャッキアップ時、カウンタウエイトなし)



(単位 t)

作業半径 (m)	主ブーム長さ(m)
	10.0
2	9.5
2.5	9.5
3	9.5
3.5	9.5
4	9.5
4.5	9.5
5	9.5
5.5	7.4
6	5.9
6.5	4.9

- この定格総荷重はクローラサイドフレームの自力着脱のためのものです。
自力着脱以外に使用しないでください。
- 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上の定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。
- 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
- 作業半径とは、荷をつった状態での旋回中心からつり荷の重心までの水平距離です。
- 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値は下表の通りです。

フック容量 (t)	フック質量 (t)	定格総荷重の最大値(t)	
		2本掛	1本掛
65	0.80	14	-
30	0.52	14	-
7	0.11	-	7

分解時の質量と外形寸法

質量・外形寸法一覧表

輸送に際しては、関係法規を順守ください。

「質量」は1ユニット当たりの質量を示しています。

分解時の質量と外形寸法

本体	個数	外形寸法 (mm)	質量 (kg)
本体 第3ウインチ付 2車補助シーブ、ブーム付 フロントウインチワイヤロープ付 リヤウインチワイヤロープ付 クローラ付 65t フック、7t フック付	1		57600
本体 補助シーブ、ブーム付 フロントウインチワイヤロープ付 リヤウインチワイヤロープ付 クローラ付 65t フック、7t フック付 (上部旋回体補助ウエイト付)	1		56800
本体 クローラ付 ブーム起伏シリンダ付 ワイヤロープなし 上部旋回体補助ウエイトなし	1		42600 (44600)
本体 ブーム付 補助シーブなし ワイヤロープなし フックなし 上部旋回体補助ウエイトなし	1		38800 (40800)
本体 ブーム起伏シリンダ付 ワイヤロープなし 上部旋回体補助ウエイトなし	1		27900 (29900)
本体 ブーム付 補助シーブなし ワイヤロープなし フックなし 上部旋回体補助ウエイトなし 折畳式ジャッキ付	1		41600 (43600)

※ () 内の数値は第3ウインチ付時を示します。第3ウインチ付時は、上部旋回体補助ウエイトは付きません。

分解時の質量と外形寸法

本体	個数	外形寸法 (mm)	質量 (kg)
本体 ブーム起伏シリンダ付 ワイヤロープなし 上部旋回体補助ウエイトなし 折畳式ジャッキ付	1		30700 (32700)
クローラ (ASSY)	2		7390
カウンタウエイト (R)	2		2730
カウンタウエイト (L)	2		2780
カウンタウエイト (ベース)	1	<p>※ () は自力着脱装置 (OPT) 付</p>	2960 (2570)
ブーム (補助シーブ付)	1		11200
折畳式ジャッキ	2		1400
ジャッキ	2		1410

※ () 内の数値は第 3 ウインチ付時を示します。第 3 ウインチ付時は、上部旋回体補助ウエイトは付きません。

分解時の質量と外形寸法

本体	個数	外形寸法 (mm)	質量 (kg)
65tフック	1		800
30tフック	1		520
7tフック	1		105

装備品一覧

標準装備・オプション一覧

○：標準装備 ●：オプション

項 目		
下部走行体	760mm 一体シュー	○
	クローラ伸縮装置	○
	昇降ステップ	○
	折畳式ジャッキ*1	●
	ジャッキ*1	●
上部旋回体	シュー緊張装置 (油圧式)	●
	キャブ昇降キャットウォーク	○
	ハウス上面手摺 (キャットウォーク用)	○
	アンダーカバー (ベッド下面)	○
	前照灯 (2灯)	○
	バックミラー (左右)	○
	ドラムフランジカバー	○
	ウインチロープ押さえ (フロントウインチ)	●
	ウインチロープ押さえ (リヤウインチ)	○
	ウインチロープ押さえ (第3ウインチ)	●
	キャットウォーク (折畳式・左右)	●
	電動燃料ポンプ	●
	ハンドレール (折畳式)	●
	フロント、リヤウインチ (φ 22.4mm フリーフォール、ブレーキモード切替スイッチ付)	○
	第3ウインチ (φ 22.4mm フリーフォール付、ガイドシープ付、ウインチドラムロック付、ロープ付、補助シープ (2車))	○
	第3ウインチ (φ 22.4mm フリーフォールなし、ガイドシープ付、ウインチドラムロック付、ロープ付、補助シープ (2車))	●
標準カウンタウエイト (2990 mm 幅)	○	
カウンタウエイト自力着脱装置 (カウンタウエイト 3800mm 幅)	●	
キャブ	エアコン	○
	サンバイザ	○
	サンシェード	○
	ウインドウォッシュャ付ワイパ (前窓、天窓)	○
	マイク&スピーカ	○
	AM/FM ラジオ (時計付)	○
	室内灯	○
	カップホルダ	○
	24V 電源ソケット (2個)	○
	フロアカーペット	○
	水準器 (キャブ内)	○
	アームチェアレバー	○
	アクセルグリップ	○
	アクセルペダル (右側)	●
	ウインチ回転感知装置 (フロント、リヤ)	○
	速度制御ダイヤル (起伏、旋回)	○
	ブーム起伏操作ペダル	○
	ブーム起伏操作レバー (第3ウインチ用レバーは前方移設)	●
	消火器 (ABC4号)	●
	扇風機	●
脱出用ハンマ	○	

*1 ジャッキと折畳式ジャッキを同時に取付けることはできません。

○：標準装備 ●：オプション

項 目			
ブーム・フック類	4段伸縮ブーム (10～30.1m)	○	
	ブーム輸送架台	●	
	ブーム着脱装置付輸送架台 (ブームフートつり治具含む)	●	
	ブームフートピン着脱補助治具	●	
	ブームフートピン着脱補助治具収納箱	●	
	補助シーブ (1車) [補助シーブ、フック過巻防止装置]	●	
	補助シーブ (2車)	○	
	65t フック (5車)	○	
	30t フック (3車)	●	
7t フック (軽量タイプ、ロック付、質量 105kg) ※ブーム長さによっては自重のみで降下しない場合があります	○		
ワイヤロープ	フロントウインチ (φ 22.4)	XP IWRC6 x WS (31)	○
		3 x F (40)	●
		P・S (19) + 39 x P・7	●
	リヤウインチ (φ 22.4)	XP IWRC6 x WS (31)	○
		3 x F (40)	●
		P・S (19) + 39 x P・7	●
	第3ウインチ (φ 22.4)	XP IWRC6 x WS (31)	○
		3 x F (40)	●
		P・S (19) + 39 x P・7	●
安全装備品	過負荷防止装置 (M/L)	○	
	M/L 外部表示灯	○	
	モード切り替えスイッチ (クレーン、掘削)	○	
	ゲートロックレバー	○	
	個別操作レバーロック (フロント、リヤ、起伏ペダル、走行)	○	
	ウインチドラムロック (フロント、リヤ)	○	
	旋回ロック	○	
	旋回警報装置	○	
	走行警報装置	○	
	自動スローダウン (緩停止)	○	
	ボイスアラーム	○	
	旋回ブレーキ掛け忘れ防止装置	○	
	エンジン非常停止スイッチ (キャブ内)	○	
	揚程計	○	
	旋回中立フリー/ブレーキモード切替	○	
	フック過巻防止装置	○	
	ブームライト (先端照射用)	●	
旋回角度制限装置	●		
ドラム & 後方監視カメラ (3台)	●		
天窓ガード	●		
共通部品	リモートセンシング (携帯通信端末・データロギング装置)	○	
	カウンタウエイト無 (減トン) 仕様	○	
	オーガ用油圧源 (ブーム側面配管含む、最大圧力 31.4MPa、最大流量 520L/min)	●	
	外部油圧源 A (最大圧力 13.7MPa、最大流量 38L/min)	●	
	外部油圧源 B (最大圧力 27.4MPa、最大流量 150L/min)	●	
	オーガ高低速操作パネル (キャブ内右側設置)	●	
	分解組立用玉掛けロープ (カウンタウエイト、クローラ、ブーム用)	●	
	ブームスタクション	●	
	リーピングウインチ兼用油圧タグライン (6 x Fi (29) φ 10mm x 55m)	● ^{※2}	
	工具箱 (右ベッド前方)	○	
	追加燃料フィルタ (トリプルフィルタ)	●	
	追加予備品 (作動油フィルタ)	●	
追加工具 (大型ハンマ、クローバー、タガネ)	●		
その他	標準付属工具	○	
	特殊工具 (オーガ油圧源装着時)	●	
	標準予備品	○	
	指定色塗装	●	

※2 ・リーピングウインチ兼用油圧タグライン
 (最大ラインプル：油圧タグライン時 1.4kN (150kg) / リーピングウインチ時 2.9kN(300kg))

- カタログに掲載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 本機の使用にあたっては取扱説明書を必ずお読み下さい。
- 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなどして、安全に心掛けて下さい。
- つり上げ荷重5トン以上の移動式クレーンの運転には「移動式クレーン運転免許証」が必要です。
また、クレーン以外で使用する際は、該当する運転資格または講習等の終了証の取得者に限ります。

お問い合わせは…

住友重機械建機クレーン株式会社

本社：東京都台東区東上野6丁目9番3号

Tel:03-3845-1396 Fax:03-3845-1394 <http://www.hsc-cranes.com>